

松戸保健所感染症情報



2013年 11月

(2013年11月14日配信)

管内で、感染性胃腸炎の集団発生が報告されています!!

管内保育施設でロタウイルスによる集団発生があり、10月24日に注意喚起がされたところです。保育施設においては、その他にも複数の集団発生報告があり、今後も発生数の増加が懸念されます。学校や高齢者施設・障害者福祉施設等においては、利用者・職員の健康状態を把握し、発生の早期発見に努めてください。また、感染対策マニュアルを確認し、オムツ交換や嘔吐時の適切な対応を職員全員に周知してください。手洗いや个人防护具の適切な使用を徹底し、感染拡大を防止しましょう。

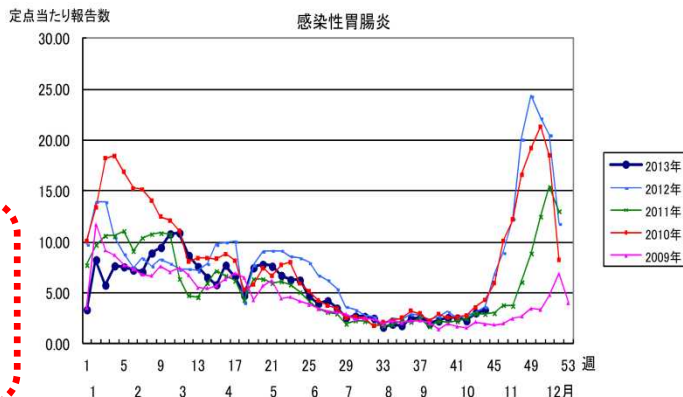
●ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省) 平成25年10月11日最終改訂

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

感染性胃腸炎(44週)ー流行シーズンに向けて注意ー

定点あたり報告数は先週より0.29増加し、3.37となりました。2013年はこれまでのところ報告数の急激な増加はみられていませんが、例年11月上旬頃から報告数が急増し始めるため、今後の流行状況に注意が必要です。

地域別では松戸(5.6)、船橋市(5.3)、印旛(5.0)が多くなっています。



管内感染症発生状況



◇感染性発生状況(10月分)…全数報告届出分

- 2類感染症／結核 8件
- 3類感染症／腸管出血性大腸菌感染症 3件
- 4類感染症／なし
- 5類感染症／後天性免疫不全症候群 1件、アメーバ赤痢 1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、梅毒 2件

◇定点医療機関からの報告(~44週)

- ・「感染性胃腸炎」の報告数が多くなっています。
- ・県内では、「RSウイルス感染症」「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の報告数が増加しています。

感染症トピックス



◆インフルエンザ情報

第44週における県全体の定点あたり報告数は0.13でした。地域別では、船橋市(0.9)、及び長生(0.7)が高くなっています。迅速診断では、A型23例、B型1例、A型&B型1例の報告がありました。

第43週の全国における定点あたり報告数は0.06となり、近隣都県(東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県)では、0.02~0.09となっています。インフルエンザの流行に備え、感染対策マニュアルを確認し、職員全員に適切な対応を周知してください。

●千葉県内の患者発生状況(11月13日更新) ※県内の迅速診断の結果がとりまとめられています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/1345influ.pdf>

県内でインフルエンザの学級閉鎖がありました

10月30日、船橋市保健所管内の幼稚園で、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。県内において、今シーズン初のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖となります。

◆「平成25年度 今冬のインフルエンザ総合対策」サイトが開設されました(2013年11月8日)

厚生労働省は、この冬のインフルエンザ流行シーズンに備えて、「平成25年度今冬のインフルエンザ総合対策」サイトを開設し、情報提供を開始しました。ホームページでは、今シーズンのインフルエンザの発生状況や予防、治療に関する情報を提供するとともに、啓発ポスターや動画を掲載しています。

今年度の啓発ポスターには、全国の自治体が公認するキャラクターを掲載し、「日本全国、みんなで予防 インフルエンザ!」をキャッチコピーとして啓発に取り組んでいきます。ポスターを印刷の上、ご活用ください。

また、11月より、厚生労働省 Twitter において、厚生労働省のインフルエンザ予防啓発キャラクターである、マメゾウちゃんとアズキちゃんが、インフルエンザに関するマメ知識を毎週つぶやきます。

●「平成25年度 今冬のインフルエンザ総合対策」ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>



千葉県ストップエイズウィーク 11/25(月)~12/1(日)

<http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuuujitu.htm>



松戸保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 終息基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみの集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

